

脳科学から 広がる 新しい世界

平成23年10月15日(土) 10:00-18:00

大阪科学技術センター 定員270名 参加費 無料

※要：事前申し込み

脳科学研究戦略推進プログラム 公開シンポジウム in KANSAI

会場：大ホール(8F) 時間：13:30-17:00

基調講演

中西重忠 (プログラムディレクター)

第1部 BMI:ブレイン・マシン・インターフェイス

「BMIが切り拓く最先端研究」

川人光男 (国際電気通信基礎技術研究所)

田中啓治 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)

第2部

「臨床応用につなげるBMIの技術開発」

吉峰俊樹 (大阪大学大学院医学系研究科)

片山容一 (日本大学医学部)

第3部

「脳科学研究の革新的な展開へ： 新たなモデル動物の誕生」

伊佐 正 (自然科学研究機構 生理学研究所)

岡野栄之 (慶應義塾大学医学部)

体験
展示

脳プロ研究を体感しよう！

BMIやモデル動物の開発から社会性や心の健康を担う脳の仕組みに至るまで、幅広い脳プロ研究の最新の成果をデモや映像を通してご紹介いたします。

会場：中ホール(8F) 時間：10:00-18:00

デモタイム：午前の部 10:00-13:00、午後の部 17:00-18:00

展示パネルは常時ご覧頂けます。

BMI(ブレイン・マシン・インターフェース)とは

ブレイン(脳)とマシン(機械)を繋ぐ技術を指し、この10年ほどで飛躍的に発展し、注目を集めています。私たちの脳と身体は、電気信号を使って情報をやり取りしています。この活動情報を利用して、脳と機械を相互に作用させるシステムがBMIです。